



東濃地区の子育て・親育ち通信

家庭教育 なう

No.9

2023年11月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111(内線 209)

FAX 0573-25-7129

MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

家庭教育「なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただくことができます。QRコード →



PTA 家庭教育学級と公民館との連携



瑞浪市立瑞浪南中学校 PTA 家庭教育学級

「お母さんのためのコサージュ作り」

日時 令和5年9月10日(日) 9:30~12:00
 場所 瑞浪市稲津公民館 図書室
 担当 瑞浪南中学校 PTA 家庭教育委員会 & 稲津公民館(担当 小嶋伸江さん)
 講師 関ゆかり先生(フラワーアレンジメント「Kurumi くるみ」)
 参加者 瑞浪南中学校保護者 7名

瑞浪南中学校 PTA 家庭教育学級 コサージュ作り体験でネットワーク作り!

学校(PTA)と公民館が連携した家庭教育学級

瑞浪南中学校の卒業式では、卒業生はおうちの人が作成したコサージュを胸につけて参加するのが伝統です。今回は、その練習の意味もあって「お母さんのためのコサージュ作り」を実施されました。

この活動を長年にわたって支えているのが公民館です。案内を作成し、参加者を募るのは学校(PTA)で行い、会場を提供し、講師の先生への依頼、活動の打ち合わせを公民館担当の方が行ったそうです。この日も、公民館担当の方と家庭教育長、中学校教頭先生で活動を見守りました。

公民館と学校(PTA)連携のメリット

☆中学校としては

- ・会場が公民館となり、休日開催でも学校を開けることなく実施できる。
- ・講師の打ち合わせ・準備等を公民館担当の方に進めていただける。
- ・講師料が折半できる。

☆公民館としては

- ・学校のメール等が活用できるので、参加者を確実に集めることができる。
- ・地域と学校の関係が深まり、地域の活性化につながる。
- ・本日完成した作品は、陶町文化祭、稲津町文化祭に出展される。

町の文化祭に彩を添え、きっと参加者の目を楽しませてくれることでしょう。

PTAの家庭教育学級に公民館事業が関わり、保護者、学校、地域が連携することでお互いが良さを享受し、かつ負担軽減となっています。

関先生のお話



関先生のこだわりは、「素材選び」です。本日の参加者の皆さんとも対話しながら選び方のアドバイスを丁寧にして見えました。次の「卒業式コサージュ作り」も担当されます。

制作の様子



コサージュ作りの内容

- 司会 公民館担当 小嶋さん
- 1) あいさつ・講師紹介
 - 2) 関ゆかり先生(「Kurumi」)
制作活動の手順確認
 - 3) 制作活動
 - 4) 記念撮影
 - 5) あいさつ 家庭教育委員長



本日制作された素敵なコサージュです。

<終わりのあいさつで>

家庭教育委員長 工藤恵美子さんが結びのあいさつで「みなさんコサージュ作りどうでしたか?」と聞かれたときに、まるで打合せしたかのように、「楽しかった!」と声がそろいました。参加者の絆も深まったことと思いました。これまでおこなってきた伝統を継承したいという工藤さんの思いも伝わったことと思います。

中津川市子育てマイスター養成講座（特別公開講座） 講演会

「これからの子育てに大切なこと」

～笑顔・愛着・メディア・コミュニケーション～

日時 令和5年9月8日（金）10:00～12:00
場所 中津川市中央公民館ホール
参加者 80名以上（子育てマイスター講座受講生、乳幼児学級受講者、家庭教育関係者）
講師 今井昌彦 先生（浜松学院大学学長）

中津川市では、家庭教育を推進するための「人づくり」にも力を入れています。その一つが「子育てマイスター」の養成です。今回は、「子育てマイスター」養成の特別公開講座を紹介します。

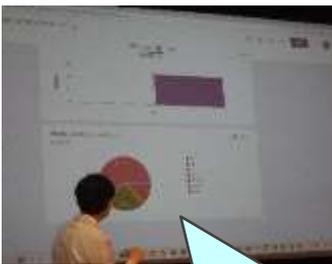
講師は浜松学院大学学長の今井昌彦先生でした。会場は、80人定員でしたが、聴講希望者が多く、椅子を増やして対応されていました。乳幼児期からの子育てで大切にしたいポイントをわかりやすくお話されました。語りに映像、音楽も組み合わせてあり感動的なお話でした。



講演会開始を待つ受講生のみなさん



「笑顔で育児、なぜ大事？」科学的な根拠を示し、端的にお話される今井昌彦先生。2時間があっという間に過ぎました。



講話の中で、スマホを活用しアンケートをとり、回答を瞬時に集計して画面に映し出されていました。参加者が主体的にとりくめるよう配慮がなされていました。



講演終了後、アンケートに熱心に感想を記入する受講生のみなさん。熱く真剣な学びの様子が伝わってきます。中津川市家庭教育推進の原動力です。

講話内容の一部を紹介します

- 1 笑顔・コミュニケーションの重要性（目を見て話すことの大切さ）**
「日本人は、相手の表情をどこで読み取っているか。それは・・・。」
- 2 愛着障害（言葉による暴力、脳への影響、同意形成の必要性）**
「知らずにやっているマルトリートメント第一位は・・・。」
マルトリートメントとは、「不適切な養育」と訳されています。
- 3 メディアと子ども（スマホ育児について、レジリエンス、安全地帯）**
「レジリエンスを高めるには・・・。」
レジリエンスとは、「困難をしなやかに乗り越え回復する力」と訳されています。

参加者の感想から

- ・子どもが生まれて育児をしてから初めて参加した講座でしたが、とても良くて参加して良かった。2時間あっという間でした。切れる子を育てないために、自尊感情を高めるために今日からでもわが子にできることをたくさん教えてもらえたので、すぐに実践したいです。ポイントを分かりやすく話して下さったので、良かったです。家に帰り、夫にも話したいです。
- ・とても分かりやすく育児で知りたいことが全て詰まっていたような講演会でした。コミュニケーションは大事というのは聞いていても実際何にいいとか分からなかったけど脳との関係もあるからなんだと分かりました。これからは、鮭を食べさせたり、とにかく目を見て話したり、じゃれつき遊びだったりこれからもコミュニケーションを多くとろうと思いました。とにかく今は会ってすぐに抱きしめたいなと思いました。すごくいい時間でした。ありがとうございました。
- ・今年3月に出産して、頑張って育児をしています。これから大きくなる子につれて何を大切に育てていけばいいか、スマホにはどうかかわっていけばいいか漠然としていましたが、今日の講座を聞いて頭がスッキリしました。自分が子どもの頃はスマホなんてなかったので、親にしっかり見守ってもらいました。今は私も夫もスマホを持っているので色々気を付けていきたいです。つい、日常の疲れに負けて子どもを待たせることがあるので肝に銘じたいです。この講座に参加して良かったです。

【取材のむすびに】

○今井先生の講演活動は、東海4県が中心で公演回数は昨年末で1360回を超えています。中津川市との縁も深く、特別養成講座では、昨年に引き続き2回目、その他の講演では市の保育園を中心に20回を越す回数お話くださっています。常に子育てに携わる方を励まし、勇気づけるメッセージを発信されてみえます。

恵那市立飯地小学校 在宅取組型

「話そう!語ろう!わが家の約束」運動

取組期間 令和5年7月21日(金)~8月27日(日)
参加者 全校児童親子

リーフレットを活用して、家族の絆が深まる 在宅取組型家庭教育学級

飯地小学校では、夏休みに「話そう!語ろう!わが家の約束」運動と「三行詩」に取り組まれました。今回は、「話そう!語ろう!わが家の約束」運動について紹介します。飯地小学校では、県からのリーフレット、「家庭教育を实践する日ニュースレター」や、HPに掲載されている実践カードを活用し取り組まれました。



案内文とリーフレット、取り組み用紙をセットで配付

内容

- ・案内文書と取組表が一緒になったプリントを配る。
- ・リーフレットを参考に家庭で話し合い、取り組みの「めあて」を決める。
- ・子どもからおうちの方へ、おうちの方から子どもへ、メッセージを書く。
- ・実践カードを集めて取り組みを共有する。

編集事務を担当された教頭先生は「リーフレットは書き込む欄が小さい(特に低学年にとって)ので、恵那県事務所のHPにある実践カードデータを活用しました。実践カードの提出状況は、100%です。全家庭、全児童が無理なく取り組むことができ、それぞれの家庭で手応えを感じる取組がなされたのではないのでしょうか。PTAの役員会でも実践の手ごたえを話題にします。」とお話されてみえました。

実践カード活用例 低学年

わが家の約束宣言

あいさつをする

| | | | | | | | |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|
| ひにち | 7/24 | 7/25 | 7/26 | 7/27 | 7/28 | 7/29 | 7/31 |
| ようび | げつ | か | すい | もく | きん | ど | げつ |
| がんばっ たよ! | 🌸🌸 | | 🌸🌸🌸🌸 | | | | |

シールを はるのもいいですね! たっぷり、はめてあげてください

子どもから おうちの方へ

つぎはもうすこし
むずかしいことを
くひょうにしてがんば
ろうとおもいました。

おうちの方から 子どもへのメッセージ

いしまわて ぞうていしました。
もくひょうをたてる、じぶんで
こうどうできていて、よくがんば
っていました。

わが家の約束宣言「あいさつをする」
日常的に家族と「あいさつ」を交わすことは、子どもが、社会的なマナーなどを身につけていく上でとても重要な習慣です。「次は、もう少しむずかしいことを目標にして…」から望ましい生活習慣を身につけるとともに、向上心も培われていることがわかります。家庭教育の成果です。

実践カード活用例 高学年

わが家の約束宣言

その日にあった出来事を
家族でたくさん話そう!

| | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 月日 | 8/14 | 8/15 | 8/16 | 8/17 | 8/18 | 8/19 | 8/20 |
| 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| 振り返り | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

○家族でメッセージを交換しましょう。

子どもから 家族へのメッセージ

その日あったこといい話
話して、家族と交流ができて
よかったです。これからもういろいろ
話そうね!

保護者から 子どもへのメッセージ

家族同志のふれあいが何となく
少なくなっている。お話を子どもと
余話をする機会が少しも増えたと
な、とてもよかったと思います。

わが家の約束宣言「その日にあったことを家族でたくさん話そう!」
家族で話をする時間はとても重要な時間です。子どものコミュニケーション能力や、人と関わるのが楽しいという気持ちを育みます。「その日にあったことをいっぱい話して、家族と交流する。」なんて素敵な時間なのでしょう。子どもにとって家庭が安らぎのある楽しい居場所になっています。

【このよさを学びたい!】

- ・「わが家の約束」を家族と相談して実行することで、望ましい生活習慣が身につく取組になっています。親子のコミュニケーションが図られ、家族の絆を深めることにつながっていることがよくわかります。



稲津小キャラクター
「いーなっつ」

瑞浪市立稲津小学校 学校行事(朝活動・読み聞かせ)

「稲津小命の日」の取り組み

日時 令和5年10月6日(金)

参加者 全校児童(198人)、コミュニティ・スクール、子育て委員会

命の尊さについて考える「稲津小命の日」

稲津小学校では、例年10月上旬に「稲津小命の日」を設定し、命の尊さ・大切さを全校児童で考える機会としてきました。

それは、平成23年に起きた痛ましい事故の教訓を語り継いでいくものです。今年は次のような取組内容でした。

朝活動 子育て委員による絵本の「読み聞かせ」

朝の会 「いのちのうた」(全校合唱)

各学年道徳授業公開 内容項目 「生命の尊さ」

命の授業 「150年つないだ命、150年つなぐ命」



「稲津小命の日」の経緯

平成23年10月。社会見学に向かう途中、稲津小学校の児童を乗せたバスが転落する事故が発生した。多数の児童が負傷する大事故であった。が、児童は全員シートベルトを着用して命は助かった。この事故の教訓を忘れてはならないと翌年から10月の第一週に「稲津小命の日」を設定し、全児童が命の大切さ・尊さについて学ぶ時間としている。

命の授業 概要

今年度は、学校ができて150年目ということもあり、テーマを「150年つないだ命 150年つなぐ命」とされました。「生きる」とは、「命をつなぐこと」、「町を作り生活を豊かにすること」と「地域と学校」に焦点をあてた授業でした。地域の学校として存続して150年、その歴史の一端を知るコミュニティスクールの会長、副会長のみなさんが、シンポジウム形式で、ご自身の思い出やこれからの稲津の町に対する願いを語られました。

家庭教育学級の取組

朝活動で絵本の「読み聞かせ」を行われました。子育て委員会の皆さんが、「稲津小命の日」にちなんだ本を選び、子どもたちに「読み聞かせ」を行う家庭教育学級の活動です。委員の中には、「どんな絵本を選ぶとよいか、図書館司書の先生に相談にのってもらい選びました。」という方や、「真剣に命の尊さについて考えることのできる本」と「楽しく命のすてきさを感じられる本」と二冊以上用意して、子どもたちに読み聞かせた方もみえました。子どもたちも、「〇〇ちゃんのお母さんだ。」と親近感をもって聞き入っていました。

この日は、学校公開日に設定されており、委員会の皆さんは、「読み聞かせ」の後、道徳の授業を参観され、その後、夏休みの在宅取組「夏休み家族クッキング」の掲示物づくりを行われました。

体育館で命の授業を受ける高学年児童



それぞれの学年の教室にて絵本の「読み聞かせ」を行っている様子 どの教室でも子どもたちの真剣な表情がありました

【このよさを学びたい!】 学校行事「稲津小命の日」に合わせて、「命」について考える絵本の「読み聞かせ」を行う。学校の教育活動とリンクした取組となっています。保護者と学校が同じ方向を目指して子どもたちの教育を推進してみえます。きっと、本の選出には、悩みや苦労があったことと思いますが、当日の子どもたちの真剣な表情が、その苦労をねぎらってくれたことと思います。